



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 ノーリツ  
コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 竹中 昌之

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

平成30年9月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	100,839	△0.9	1,812	△41.0	2,532	△30.8	898	△67.8
29年12月期第2四半期	101,805	0.4	3,073	△10.5	3,658	27.5	2,789	53.0

(注)包括利益 30年12月期第2四半期 △240百万円 (—%) 29年12月期第2四半期 3,237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	18.79	18.77
29年12月期第2四半期	58.34	58.30

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年12月期第2四半期	203,090		120,297		57.2
29年12月期	212,491		121,531		55.1

(参考)自己資本 30年12月期第2四半期 116,244百万円 29年12月期 117,177百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
30年12月期	—	16.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△2.2	5,000	△25.5	6,500	△19.7	3,200	△40.8	66.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	50,797,651 株	29年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	2,986,419 株	29年12月期	2,992,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	47,808,315 株	29年12月期2Q	47,816,707 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成30年8月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は実質所得改善の実感がなく停滞感を残しています。また、海外経済においては、米国は雇用・所得環境の改善による消費改善が進むものの、中国経済の成長鈍化や国内外に大きな影響を与える米中関係の動向など不透明な状況にあります。

国内住宅関連業界におきましては、住宅ローン減税や金利優遇政策の効果が一巡し、マンション・集合住宅を中心に新設住宅着工戸数が前年を下回ったことに加え、労働力不足や素材価格の高騰等の影響により厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画『Vプラン20』の方針に基づき、国内事業の収益力の強化、海外事業の拡大に向けた取組みを進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,008億39百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が18億12百万円（同41.0%減）、経常利益が25億32百万円（同30.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が8億98百万円（同67.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 国内事業

当第2四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が746億49百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益が6億14百万円（同65.7%減）となりました。

温水空調分野では、需要が堅調に推移する中、昨年発売した「見まもり」「キレイ」機能を備えた主力商品「GT-C62シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しました。

厨房分野では、グリル料理の楽しさを広める「毎日グリル部」を運営するなど、自動でグリル調理が可能なマルチグリルの提案を進め、ガスビルトインコンロの中高級グレードとレンジフードを中心に拡販に努めました。

住設システム分野では、ジャスト対応が可能なシステムキッチン「レシピアシリーズ」や、おそうじ浴槽を標準搭載したシステムバス「ユパティオシリーズ」でリフォーム需要獲得に向けた提案に取り組みました。一方で、システムキッチン製造子会社である関東産業株式会社の解散と業務提携先トクラス株式会社への生産移管を決定致しました。

しかしながら、売上高が減少したことに加え、付加価値商材の伸び悩みや素材価格が高騰したことなどの影響により国内事業全体では減収減益となりました。

## ② 海外事業

当第2四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が309億42百万円（同1.4%減）、セグメント利益が11億97百万円（同6.7%減）となりました。

豪州においては増収となりましたが、最も売上構成比が高い中国において、市場成長の鈍化により減収となるなど、海外事業全体では減収減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、2,030億90百万円（前連結会計年度末比94億円減）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,139億43百万円（同62億2百万円減）となりました。また、固定資産は有形固定資産が減少したこと等により891億46百万円（同31億98百万円減）となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により827億92百万円（同81億67百万円減）となり、純資産につきましては1,202億97百万円（同12億33百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は57.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は372億64百万円と前連結会計年度末に比べ29億80百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得た資金は69億99百万円となりました。これは主に減価償却費32億10百万円および売上債権の減少額88億39百万円等による資金の増加、たな卸資産の増加額20億33百万円および仕入債務の減少額39億57百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は25億70百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出29億37百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は8億11百万円となりました。これは主に配当金の支払による支出7億65百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成30年8月9日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,018	37,541
受取手形及び売掛金	45,483	36,315
電子記録債権	13,184	12,773
有価証券	316	612
たな卸資産	19,728	21,365
その他	6,543	5,467
貸倒引当金	△128	△131
流動資産合計	120,146	113,943
固定資産		
有形固定資産	35,982	34,003
無形固定資産		
のれん	634	539
その他	7,388	6,904
無形固定資産合計	8,022	7,443
投資その他の資産		
投資有価証券	42,602	41,830
その他	5,908	6,012
貸倒引当金	△171	△144
投資その他の資産合計	48,339	47,698
固定資産合計	92,344	89,146
資産合計	212,491	203,090
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,745	36,053
短期借入金	800	800
未払法人税等	1,242	604
賞与引当金	1,155	860
製品保証引当金	980	932
製品事故処理費用引当金	87	51
その他	20,269	18,332
流動負債合計	65,279	57,634
固定負債		
役員退職慰労引当金	49	50
製品保証引当金	4,324	4,069
環境対策引当金	373	124
退職給付に係る負債	13,460	13,500
その他	7,472	7,413
固定負債合計	25,680	25,157
負債合計	90,960	82,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	62,114	62,246
自己株式	△5,114	△5,104
株主資本合計	100,125	100,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,908	17,672
繰延ヘッジ損益	0	6
為替換算調整勘定	2,410	1,267
退職給付に係る調整累計額	△3,267	△2,969
その他の包括利益累計額合計	17,052	15,977
新株予約権	63	73
非支配株主持分	4,290	3,979
純資産合計	121,531	120,297
負債純資産合計	212,491	203,090

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	101,805	100,839
売上原価	67,971	68,585
売上総利益	33,833	32,254
販売費及び一般管理費	30,759	30,441
営業利益	3,073	1,812
営業外収益		
受取利息	122	125
受取配当金	286	386
受取賃貸料	71	71
その他	279	342
営業外収益合計	760	925
営業外費用		
支払利息	7	10
固定資産賃貸費用	46	45
為替差損	59	89
その他	62	60
営業外費用合計	175	205
経常利益	3,658	2,532
特別利益		
固定資産売却益	—	70
投資有価証券売却益	213	—
受取和解金	510	—
受取保険金	—	33
製品保証引当金戻入額	1,406	—
特別利益合計	2,131	103
特別損失		
固定資産処分損	37	32
減損損失	154	903
製品事故処理費用	1,345	—
特別損失合計	1,537	935
税金等調整前四半期純利益	4,252	1,700
法人税、住民税及び事業税	1,172	894
法人税等調整額	270	△198
法人税等合計	1,442	695
四半期純利益	2,810	1,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	106
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,789	898



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,810	1,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	764	△235
繰延ヘッジ損益	2	6
為替換算調整勘定	△676	△1,313
退職給付に係る調整額	336	298
その他の包括利益合計	427	△1,244
四半期包括利益	3,237	△240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,337	△176
非支配株主に係る四半期包括利益	△99	△63

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,252	1,700
減価償却費	3,903	3,210
減損損失	154	903
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,727	△217
製品事故処理費用引当金の増減額(△は減少)	856	△35
売上債権の増減額(△は増加)	8,701	8,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,868	△2,033
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,337	△3,957
法人税等の支払額	△1,745	△1,402
その他	△2,122	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,067	6,999
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△449	△0
定期預金の払戻による収入	784	434
有価証券の取得による支出	△674	△4
有価証券の売却及び償還による収入	617	200
有形固定資産の取得による支出	△4,637	△2,937
その他	269	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,089	△2,570
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△764	△765
その他	△47	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△812	△811
現金及び現金同等物に係る換算差額	△515	△636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,651	2,980
現金及び現金同等物の期首残高	35,887	34,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,538	37,264

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,972	29,832	101,805	—	101,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,319	1,548	4,868	(4,868)	—
計	75,291	31,381	106,673	(4,868)	101,805
セグメント利益	1,790	1,283	3,073	—	3,073

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,542	29,297	100,839	—	100,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,107	1,644	4,751	(4,751)	—
計	74,649	30,942	105,591	(4,751)	100,839
セグメント利益	614	1,197	1,812	—	1,812

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。